

平成 26 年 11 月13日
NPO 法人山の E C H O

実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討(案)

1. 実証試験実施有無の確認

- (1) 山岳環境保全対策支援事業（山岳トイレ補助）等の補助金申請の際に、実証事業の実施有無を確認し、実証試験結果の提出を依頼

継続依頼

- (2) 国や自治体の競争入札等の企業ヒアリングの際には、実証事業実施の有無を確認

未確認

- (3) ユーザー側がトイレし尿処理技術を選択する際には、実証試験結果を確認

未確認、継続依頼

など

2. 技術課題の改善状況の把握

- (1) 試験結果報告書に掲載された技術課題の改善状況を確認

成果報告の依頼

- (2) 技術課題の内容に基づいた改善状況を報告させる（要領 11 版の適用技術以降）

経年結果の報告

など

3. 実証試験結果の広報・PRの徹底

- (1) 環境省内での実証事業に関する情報の周知
(2) 環境省地方環境事務所等への広報・PR の依頼
(3) 現地自然保護官を通じた、自治体の観光課や関係部局への広報
(4) 地方自治体を通じた地元山岳関係者や建設・コンサル業者への広報
(5) アンケートを主体に実証試験状況を PR

など